

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	2 型糖尿病における冠動脈疾患 (CHD) 発症関連因子の解析 2002-2010 年と 2016-2025 年の患者群の比較 (承認 No. 2026-036)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	リハビリテーションセンター内部疾患リハ科 理学療法士 文沢 靖
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	2012 年の研究において糖尿病患者さんで冠動脈疾患 (以下 CHD と略します) 発症関連因子の解析を行い non-HDL-C が独立危険因子であることを発見しました。そこから 15 年あまり経過し医療情勢や社会情勢も変化したと考えます。そして糖尿病や CHD の臨床特徴も変化していると予測されます。そこで 2012 年に公表した研究データと、近年に糖尿病教育を行った患者さんで心筋梗塞の治療または冠動脈バイパス術の手術目的で再入院した患者さんの特徴を比較します。また近年群は 2012 年と同様の手法で Matched Case-Control Study (対応のある症例対照研究と言います) を実施します。糖尿病患者さんで CHD 発症の因子を比較し解析することは、今後の糖尿病治療及び心血管イベントの抑制の上で有用であると考えます。
調査データ 該当期間	2002 年～2010 年 (2012 年に公表したデータ)、 2016 年～2025 年
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間中に糖尿病教育入院クリニカルパス適応となった 2 型糖尿病患者さんで明らかな CHD を発症した患者さん。 ●利用する情報 相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報 CHD 発症の有無、罹病期間 (年)、年齢 (歳)、性別 (男:女)、脂質関連指標 [TC、HDL-C、LDL-C、nonHDL-C、TG (mg/dl)、TC/HDL-C、TG/HDL-C、nonHDL-C/HDL-C、LDL-C/HDL-C]、BMI (kg/m²)、血圧 (mmHg)、血糖値 (mg/dl)、HbA1c (%)、血中 C ペプチド (ng/dl)、血清クレアチニン (mg/dl)、eGFR (ml/min/1.73m²)、血糖の薬、脂質の薬、喫煙歴、CHD 発症までの期間を比較し解析します。 また 2016 年～2025 年は CHD 症例 (case) に対し性年齢がマッチした 3 名を control として Matched Case-Control Study (対応のある症例対照研究と言います) で解析します。 ●研究期間：2026 年 7 月 27 日～ 2031 年 3 月 31 日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

様式 16

お問い合わせ先	相澤病院 リハビリテーションセンター内部疾患リハ科 理学療法士 文沢 靖 Tel : 0570-03-3600 (代表)
備考	